

KANSHOKU

KANSHOKU

コバックの新しいブランド「KANSHOKU」シリーズは、シリコーンによる新しい感触を目指して、開発されたデザイン製品です。

イメージとのギャップに驚いたり、その風合いに優しさを覚えたり、素材に込められた思いに共感したり、人の手に触れる様々な感触をシリコーン製品を通して提案してまいります。



Panefeky Ls

COVAC

「コバック」は、長年にわたり、皆様の手に触れるところの製品の最先端ブランドです。

使い心地が何より大切だから。

感触の技術を極めて、30年以上。



新 た な 感 触 を 求 め て シリコーン

コバックの成形技術

炭



七ヶ宿の白炭

佐藤光夫氏は宮城県七ヶ宿町で山の緑を保ちながら続いている炭焼き職人です。私たちは国内に数ある炭の中から佐藤氏のつくる炭を使いたいと思いコラボレーションをお願いしました。佐藤氏によると、雑木林は適度に伐ることで萌芽更新によって若返りそして2,30年すれば再び炭を焼くことができるようになるそうです。自然を損ねることの少ない、天然の理にかなった営みです。山の様々な木が様々なまま生かされるよう、木のいのちを預かるような気持ちで炭を焼いているそうです。sumiシリコーンは炭の風合と佐藤氏の思いが詰まった独特的な製品となりました。

シラス



高千穂シラス

鹿児島県から宮崎県南部にかけて、最大150メートルもの厚さでシラスが積み重なっている広大なシラス台地。サラサラした粉状のシラスは、水持ちが悪いため水田には向かず、豪雨の際に土砂崩れを引き起こすなど、地元では厄介ものとされてきました。シラスはマグマが岩石となる前に粉末となった物質であり、養分を持たない「原始的な土」ともいえるものなのです。マグマのエネルギーを秘めたシラスは、住建材として人と環境にやさしい多くの優れた機能があるだけでなく、ハイテク機器や生命科学の分野においても貴重な役割を果たす新素材として注目を集めています。



木綿



国産木綿

小巾の仕上で各生産地それぞれ独特のざっくりとした風合いを持っています。平織の堅牢な織物で古くから農家の野良着用布として使われてきました。国産木綿を使用したsarasaraシリーズはシリコーンのグリップ力を利用した自助具として開発されました。少し冷たい感じのシリコーン素材ですが、素朴な風合いを持つ国産木綿とあわせることにより、人の気持ちに寄り添ったやさしさの伝わる雰囲気のある製品になりました。sarasaraシリーズでは今後もいくつかの国内産の伝統織物との融合製品を発表していきます。

デニム



クロキ社のデニム

世界中の有名ブランドが注目するクロキ社のデニム生地。クロキ社のある備中地域は江戸時代中期に藩の奨励として、綿作の普及と藍作りによる藍染織物に端を発して織物業と染色業の基礎が築かれました。そして、その発展と技術蓄積に支えられ、明治以降に織維産地の基礎が確立され、昭和の時代に国産デニムを作り始めました。クロキ社のデニム生地をシリコーンと合わせたsixファブリックは第六の感触としてアウトドアなどの製品に活かされます。デニムの風合いを持ちながら濡れにくい新しい製品が誕生しました。

COVAC

東京都台東区元浅草 1-1-1 パシフィックシティ新御徒町6階

電話番号:03-5246-4281(代表) FAX番号:03-5246-4282(代表)